

嘉麻市社協だより

えがお

発行日 2009.10.1 No. 44

うまくつかめるかな!?

おしゃべりサロンで
そうめん流し



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com



季節に応じた支援の必要性を実感

市内・外の多くの方から寄せられた支援物資（Tシャツ116枚、タオル93枚、石鹸144個）を9月11日、NPO法人北九州ホームレス支援機構が実施した炊き出しにあわせて届けました。

今日の経済状況は、一般的には、少しは持ち直しつつあるといわれていますが、この日の炊き出しに並んだホームレスの数は4か月前よりも確実に増えているようです。

支援機構のスタッフも、「支援物資を求める人が、最近、特に増えてきており、衣類などの物資が少なくなっています。」と現状を語ります。

炊き出しが午後9時ごろに終了し、八幡方面の巡回活動に参加して、直接支援物資を渡しましたが、衣類や髭剃りのほか、かゆみ止めの薬や蚊取り線香を求める方も多く、季節に応じた物資の必要性を改めて実感しました。

これからまもなく、ホームレスにとって、最も厳しい季節がやってきます。支援機構は12月から2月までの3か月を越冬期として、命を守るため、毎週金曜日午後8時から炊き出しを行います。

本会としても、越冬支援物資やボランティアの募集などを通じて、少しでもこの活動に参加していければと考えています。

今回、支援物資を寄附していただきました皆様、本当にありがとうございます。

公開講座入場チケット・書籍好評販売中

11月6日（金）、飯塚市、嘉麻市、桂川町社会福祉協議会の主催による公開講座を開催します。

この講座は、フリージャーナリストの佐藤幹夫氏を講師に、「発達・知的障がい者の地域支援ネットワークをどうつくるか…」ということをお皆さんと共に考えていくために開催するものです。

本会では、この講座の入場チケット及び佐藤氏が執筆された書籍も販売していますので、ぜひご購入ください。

●日時：平成21年11月6日（金）

開場／午後5時30分 開演／午後6時30分（終了は午後8時30分の予定です。）

●会場：桂川町住民センター 大ホール ●入場チケット：300円（学生は無料）

●講師：佐藤幹夫氏（フリージャーナリスト）

演題「罪を犯した発達・知的障がい者の裁判をつうじて思うこと」

●その他：託児コーナー、手話通訳があります。※託児 200円／1人

託児を利用される場合は、10月23日（金）までに桂川町社協（TEL 65-2271）にお申込ください。

【販売書籍】

書籍名	価格（税込み）
「自閉症」の子どもたちと生きてきたこと	1,890円
新書 y 少年犯罪厳罰化 私はこう考える	861円
新書 y ハンディキャップ論	756円
自閉症裁判—レッサーパンダ帽男の「罪と罰」	1,050円
裁かれた罪 裁けなかった「こころ」—17歳の自閉症裁判	2,520円
ルポ 高齢者医療—地域で支えるために	819円

《お問い合わせ先》 嘉麻市社会福祉協議会 ☎ 42-0751 FAX 83-8005

このコーナーでは、市内で開催されている「ふれあい・いきいきサロン」の様子をお伝えしています。

今回は、9月10日(木) 碓井地区熊本集会所で行われた「熊本いきいきサロン」にお邪魔しました。

このサロンでは、9時過ぎになるとボランティアの方々が集まって、昼食の準備をします。この日のメニューは、ちらし寿司にかぼちゃの煮物、鶏の南蛮揚げ、お吸い物です。11時、「おはようございます！」の元気な挨拶とともに参加者の方が集まってこれ、22名となりました。ボランティアの方に測定器で血圧を測ってもらいながら談笑し、その後、昼食をみんなで楽しみました。「味も栄養も満点だね。」「味付けが上手ね。」ととても好評でした。



食後は、小唄や手遊び、風船バレーボール等のレクリエーションを楽しみ、賑やかな時間が過ぎていきました。初めて参加された方は、「今日は、いっぱい笑って楽しかった。また来よう。」と満足した様子でした。熊本サロンは、第二木曜日に熊本集会所で開催されています。



寄ってこハウス情報

寄ってこハウスにたくさんの笑い声 ～交流会を開催しました～



地域の交流拠点として漆生南部行政区の民家に開設している寄ってこハウスを多くの市民の方に知ってもらいたいとの思いで、8月22日(土)に交流会を開催しました。

当日は、近隣住民の方や行政区長さん、地区の老人クラブの方、ハウスの野菜づくりに参加している方、広報紙を読んだ、総勢28名が参加されました。

交流会は、まず緊張をほぐすため、全員の自己紹介から始まり、次いでボランティアグループお手玉の会「ボタちゃん」のメンバーとともにお手玉を使ったレクリエーションを楽しみました。多くの笑顔とともに除々に気持ち打ち解けていきました。

時間はあっという間に12時を過ぎ、お待ちかねの昼食となりました。みなさんは、ハウスの畑でとれた茄子入りカレーや野菜サラダ、ご近所から差し入れられた漬物などに舌鼓を打ちました。

交流会に参加した方からは

「この家の前を通るたびに気になって入っていたけれど、今回初めて中に入って、とても楽しい時間を過ごしました。こんなに笑ったのは久しぶりです。」との声が聞かれました。

この寄ってこハウスという名前には、「気軽にちよつと寄って行こう」との思いが込められています。今回はこのようなかたちで交流会を行いました。が、これからは名前に込めた、ちよつと寄っていきける場所となるよう、さらに利用の促進に努めていきたいと思えます。

なお、ハウスを利用してみたい方、野菜づくりに参加してみたい方等を募集していますので、お気軽にご連絡ください。

嘉麻市社会福祉協議会
☎4210751



明るい雰囲気の中、箸がすすみます

知り合おう!! 伝えよう!!

みんなの活動、地域のホットニュース!!



受け継がれる憶良と郷土への思い



憶良まつり短歌会で表彰を受けたみなさん

「銀も金も玉も何せむに勝れる宝子に及かめやも(子等を思ふ歌)」これは万葉歌人山上憶良が稲築の鴨生で選定したといわれている嘉摩三部作の中の一首です。神亀三年(726年)に筑前国守として大宰府(現太宰府市)に赴任した山上憶良が同五年(728年)に嘉摩郡を巡察した際のものでそのうです。

この事実は、60年位前までは、ほとんど知られていませんでした。しかし、鴨生

に住んでいた故金丸與志夫さんが書店で見つけた「一日一言(桑原武夫著)」という一冊の本との出会いから、全てが始まります。その中に「万葉集 巻五 嘉摩三部作の歌が詠まれたのは飯塚市外『鴨生』である」と書かれていたのです。それを目にした與志夫さんは、自分の生まれ育ったところで有名な歌が詠まれていたことに驚嘆し、稲築と憶良のつながりを一人でも多くの人に知ってもらい、後世に伝えていく責任があると、万葉集の研究を始めました。また、短歌を作る楽しみを伝えようと憶良まつり短歌会の開催や歌碑の建立などに情熱を傾けました。



鴨生憶良苑にある嘉摩三部作の歌碑

その思いを受け継いだ娘の嘉與子さんも自宅敷地内に鴨生憶良苑を作り、5基の歌碑を建てるなどの活動を続け、現在市内にある憶良の歌碑は15基を数えます。9月12日(土)には、稲築公民館で第38回目となる憶良まつり短歌会が開催され、今年も小・中・高校生や一般市民などから1,300首を超える短歌の応募がありました。その中から、稲築志耕館高校2年の河野照子さんの「人見知り 一人で遊ぶ片隅に 気づいてくれた 優しい言葉」が市長賞に選ばれたなど、18首が表彰を受けました。

また、この短歌会の実行委員長を務めている金丸やつ子さんも與志夫さんの思いを受けて、嘉與子さんらとともに憶良顕彰活動に携わったメンバーの一人で「與志夫先生の熱意に満ちた活動があったからこそ、今があるのだと思います。そして、そのおかげで万葉愛好者はじめ、たくさんの人とめぐり会いました。この縁を大切にしながら、郷土の歴史と言葉の楽しさや奥深さを伝えていきたいですね。」と語り、その思いは確実に受け継がれているようです。一冊の本との偶然の出会いが長い年月をかけて、たくさんの出会いを育んでいます。



嘉麻市支会だより



嘉麻市の福祉充実のために
赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに、今年も10月1日から12月31日までの3ヶ月間、全国一斉に赤い羽根共同募金運動がはじまりました。昭和22年にはじまったこの運動は、今日まで、民間の社会福祉事業を支える募金としての役割を担うとともに、国民の間にも赤い羽根共同募金として定着しています。

嘉麻市においては、今年度の募金目標額を85002855円（前年度募金実績）と定めて、募金協力の呼びかけをさせていただきますが、昨年からの景気の低迷や7月末の集中豪雨の影響等によって、各ご家庭でも、また企業等においても大変厳しい状況にありますが、本運動の趣旨をご理解いただきまして、可能な範囲でご協力をいただければ幸いです。

なお、今年度寄せられた募金は、以下にお示しする流れで配分されていきますので、ご参照下さい。

募金はこのような方法で呼びかけます

- 街頭募金…10月1日～4日まで市内のスーパー、コンビニ等の街頭で、協力を呼びかけます。
- 戸別募金…10月初旬から各行政区の区長さん、隣組長さんをつうじて、協力を呼びかけます。
- 職域募金…10月中旬から各職場等へ、募金資材(バッジ、ネクタイピン、クオカード等)の購入の協力を呼びかけます。※募金資材は、個人でも購入できます。
- 法人募金…11月初旬から法人企業等に協力を呼びかけます。
- キャラクター募金箱の設置…市内のスーパー、コンビニ等に募金箱を設置させていただき、年間をつうじて、協力を呼びかけています。



なお、共同募金への寄附金には、税の特典があります。会社などの法人の寄附金は、全額損金に算入することができます。個人の寄附金は、所得税控除の対象となります。

赤い羽根共同募金の流れ

平成21年度内に送金

次のような方法で募金を呼びかけます

戸別募金

街頭募金

職域募金

募金

法人募金

キャラクター募金箱の設置

福岡県共同募金会嘉麻市支会

送金

福岡県共同募金会

配分・地域へ

社会福祉施設

社会福祉協議会

平成22年度に事業費として配分

あなたの募金が、あなたのまちのどんな福祉事業に役立てられているのか、ホームページでご覧いただけます。
www.akaihane.or.jp ●赤い羽根データベース「はねっと」をご覧ください。

平成21年度は、14,934,700円が嘉麻市の福祉充実のために 配分され、次のような事業に役立てられています。

社会福祉施設の充実のために

- 知的障害者入所更生施設 さくら学園(入所者が乗車するマイクロバスの整備費)…3,600,000円
- 知的障害者更生施設 つばさ学園(廃油再生燃料装置の整備費)……………2,360,000円
- 児童養護施設 嘉麻学園(入所児童が乗車するマイクロバスの整備費)……………3,600,000円

地域福祉の充実のために

- 嘉麻市社会福祉協議会(地域福祉事業・活動費)……………5,374,700円

さくら学園



つばさ学園



嘉麻学園



嘉麻市社会福祉協議会



社会福祉法人愛光会 多機能型施設セルプ清浄

セルプ清浄は、知的に障がいを持つ皆さんが社会就労自立を目指して、自動車部品(ホープ)、お菓子づくり(菓子工房さくら)、水耕栽培農園で働いています。ここで働く皆さんの工賃を倍増するためには設備の増強が必要で、この度財団法人JKAから多額の助成金を受け、自動菓子包装機を購入することができました。



市内の2施設がJKAから助成を受ける

社会福祉法人稲穂会 第二稲穂園 デイサービスセンター

平成21年9月5日、財団法人JKAから助成をいただいた福祉車両(車イス仕様リフト式10人乗り)が納車されました。これにより、デイサービス利用者の送迎もスムーズになりました。

また、車イス使用者の皆さんへの園外レクリエーション等、より多くのサービスが出来るようになり、利用者及び家族の方々も大変喜んでます。



かまボランティア 市民活動センター情報

2009年
10月

ボランティアグループ紹介 No.2

お手玉の会「ボタちゃん」

このコーナーでは、かまボランティア・市民活動センターに登録しているグループに活動内容や活動する上での悩みなどをインタビューしていきます。

お手玉の会「ボタちゃん」代表者の永水清子さんにお話を伺いました。

・会を作ろうと思ったきっかけは何ですか？

毎年6月に稲築公民館で行われているお手玉大会でその魅力に惹かれ、子どもから高齢者まで遊ぶ事ができるお手玉を使って何かできないだろうかと思ったことがきっかけです。そして、平成18年にお手玉の会「ボタちゃん」が発足しました。

・現在は、どんな活動をされていますか？

お手玉作りや練習をするかたわら、介護施設を訪問したり、子ども会や老人会等で、お手玉を使ったレクリエーションで交流しながら、その楽しさを伝えています。

・活動する上で心がけていることはありますか？

みなさんと交流する時には、目線を合わせて接するようにしています。そして「笑顔で行って、笑顔で帰ってくる」をモットーにしています。

・今後の活動について教えてください。

訪問する施設を増やす等、少しずつ活動の場を広げていきたいと思っています。メンバーが増えると活動しやすくなりますので、興味のある方は稲築公民館に見学においでください。

- ★活動日時
毎月第1水曜日
9時30分～12時
- ★場所
稲築公民館
- ★会員数 9名
- ★代表者 永水清子さん



ボランティア募集情報

学習発表会の手伝い

県立嘉穂養護学校では、学習発表会の際に児童生徒のお世話などをしていただけるボランティアを募集しています。

日時 10月24日(土)8時45分～12時30分

場所 嘉穂養護学校体育館

募集人員 3～5名程度

内容 発表会中の児童生徒のお世話、大道具・小道具の出し入れ等

その他 昼食のお弁当は学校側が準備します。

※日常学習の成果をステージで発表する(9時30分～12時)とともに、作品展示や作業学習製品の販売(12時30分～13時30分)も行いますので、ぜひご来校ください。

運動会のサポート

知的障害者入所更生施設さくら学園では、運動会の際に競技の手伝い等をしていただけるボランティアを募集しています。

日時 10月18日(日)
9時30分～15時

場所 さくら学園 グラウンド

募集人員 10名程度

内容 競技の手伝い、園生の補助

その他 昼食は施設側が準備します。

お問い合わせ先 かまボランティア・市民活動センター 電話 42-0751

広げよう！子育ての輪

～おしゃべりサロンで仲間を流し～

毎月第二水曜日、10時30分
から碓井千歳会館で「おしゃべりサロン」が開かれています。

このサロンは、子育て中のお母さんや子どもたち、また託児ボランティアの方々、月に1回集まって交流を深め、子育ての輪を広げていくことを目的としています。

9月9日は、20名の親子が参加し、そうめん流しを楽しみました。準備している間、子どもたちはみんなで仲良くおもちゃで遊んでいましたが、まだかな々と待ちどおしそうでした。

いよいよそうめん流しが始まると、「子どもたちは嬉しそうに竹を囲み、流れてくるそうめんを慣れない箸で一生懸命にすくって、「おいしいね。」と言いながら口一杯に頬張っていました。そんな子どもたちを見てお母さんにも自然と

笑みがこぼれていました。

このように月1回開かれるサロンは、お母さんたちとボランティアの方々、気軽に子育ての悩みを話したり、また色々な情報を交換しながら、親子でリフレッシュできる場として定着してきています。

今回初めて参加された片野早紀さんは「保育所ではなかなかお母さん同士で話したりする機会がないので、こうしてみなさんと子育てについて話ができるのがすごく楽しいです。」とその思いを口にします。

これからこのサロンに、新しい子育て仲間や先輩ママが、おしゃべりにきていただいて、子育ての輪がさらに広がっていくかと思っていますので、関心のある方は一度参加してみませんか？

10月のサロン開催予定

- 場 所 碓井千歳会館
- 日 時 10月14日(水)10時30分～
- 内 容 絵本にふれよう

※お気に入りの絵本を各自用意していただき、紹介してもらいます。



お問い合わせ先
嘉麻市社会福祉協議会 TEL 42-0751



たくさんの人に利用してもらいたい・・・

～ボランティアグループ「幸の会」からベンチ2脚を受贈～

この度、嘉麻市内を拠点として活動しているボランティアグループ「幸の会」から、ベンチ2脚を寄贈いただきました。これは同会が廃品回収活動などに取り組んで得た益金を地域に還元するという目的で行われたもので、稲築地区のバス待合所に設置して、市民の方に活用して欲しいとの思いが込められています。

今回寄贈をいただいた2脚のベンチは、稲築郵便局前及び鴨生口のバス待合所に設置することにいたしました。本当にありがとうございました。



お月様見つけました！

稲築東学童保育所

朝夕は過ごしやすく、夜には虫の音が聞こえ、すっかり秋らしくなってきました。

子どもたちが、「昨日おじいちゃんとお月様みたよ。」「月でうさぎが、もちつきしよんばい」「宇宙に行つて実験する人、テレビで見たとあるよ」などと楽しい話を聞かせてくれます。少し前の話になりますが、7月22日に、46年ぶりとなる皆既日食(福岡では部分日食となりました)の観測を子どもたちは体験していますので、月の話には関心があるようです。



『お月見団子作り』をしました。

最近夜空を眺めたことがありませんか？10月4日は満月です。家族でお月見をしながら、ゆつくりとした時間を過ごされてみてはいかがでしょう。

山田ふれあいハウス閉館時間変更のお知らせ

平成21年11月1日から平成22年3月31日まで、山田ふれあいハウスの閉館時間が、下記のとおり変更となります。

◎閉館時間 午後5時

山田ふれあいハウス 電話52-1847



嘉麻市社会福祉協議会指定
葬祭場紹介

きど葬祭やまさ碓井斎場

嘉麻市飯田214-1
☎(0948)62-4499



- 24時間年中無休です。
- 精一杯真心で御奉仕致します。
- いつでもどこでもお伺い致します。
- とってお得な「きど葬祭やまさ倶楽部」会員募集中

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、きど葬祭やまさ碓井斎場を含め、市内に8カ所あります。

ひさつね会館	☎52-0758
いすや会館	☎57-4444
セレモニーホールおおつか	☎52-1212
かほ葬祭 あじさい会館	☎62-5566
善光会館 稲築会場	☎83-5000
おかむら葬祭 岡村会館	☎42-4420
飛鳥会館 南斎場	☎42-4241

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝え下さい。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。

知っておきたい

葬儀マナー・基礎知識 No.29

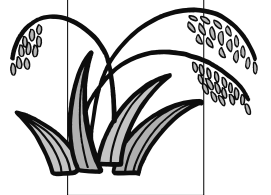
今回ご回答頂くのは… スエナガ タイジ
きど葬祭やまさ碓井斎場 末永太二さん



Q 納棺の際、棺に入れてはいけないものはありますか？

A 燃えにくい金属類や、本、果物等は、燃え残ってしまったり、場合によっては、溶けて遺骨に付着してしまうこともありますので、入れないほうが良いと思います。棺に入れる一般的なものとしては花、故人の愛用品などです。迷われた時はご相談下さい。

嘉麻市の住民の皆様から、
ご寄附をいただきました。
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

8月16日～9月15日受付分

〔下白井西〕

親族 田中 和子 様
故 田中 アイ 様

〔蛭子〕

親族 上田 道子 様
故 小嶋 ムツ子 様

〔尾浦第二〕

親族 村上 恵子 様
故 村上 哲也 様

〔本町〕

親族 新貝 正 様
故 新貝 裕右 様

〔下牛隈〕

親族 石橋 ナニハ 様
故 石橋 雅夫 様

〔新山野〕

親族 大里 茂秋 様
故 大里 英子 様

〔西郷〕

親族 藤島 清美 様
故 藤島 健三 様

〔笹原〕

親族 堂面 まさみ 様
故 堂面 日出男 様

〔熊本〕

親族 中嶋 光子 様
故 中嶋 敏春 様

〔上白井上〕

親族 土倉 司 様
故 土倉 ハシノ 様

〔上〕

親族 平田 厚志 様
故 平田 彰吾 様

〔上町〕

親族 宮崎 忠 様
故 宮崎 ウタノ 様

〔千手〕

親族 正中 隆俊 様
故 正中 スマ子 様

初盆返し

8月16日～9月15日受付分

〔漆生本村〕

親族 古賀 カヨ子 様
故 古賀 キノエ 様

〔親族〕

親族 田坂 孝司 様
故 田坂 久美子 様

〔親族〕

親族 野見山 岩夫 様
故 野見山 トシコ 様

〔漆生老松〕

親族 木山 淳一 様
故 木山 昌勝 様

〔東岩崎〕

親族 松岡 靖子 様
故 松岡 菊雄 様

〔鴨生第二〕

親族 安岡 政子 様
故 安岡 貞夫 様

〔辻中籠〕

親族 中並 隆 様
故 中並 敏美 様

〔飯田〕

親族 中村 美智子 様
故 中村 徹 様

〔長野〕

親族 高松 千代 様
故 高松 一美 様

〔昭和〕

親族 和田 美恵子 様
故 和田 力 様

〔一般寄附〕

嘉穂の名水愛好者一同 様

〔ベンチ2脚〕

幸の会 代表 中村 テル 様

〔子育てリユース〕

新山野 安武 陽子 様
山野第二 粉井 優貴 様
鳴生北町 服部 陽子 様
銭代坊 工藤 恵 様
九郎原 佐藤 沙希 様
嘉穂才田 児玉 清美 様

〔アルミ缶〕

飯田 匿名 名 様
下白井東 匿名 名 様
下宮 仲道 庸正 様
石ヶ崎 渡邊 美千代 様
百々谷 橋本 利根 様
嘉穂才田 大屋 由美 様

〔上牛隈〕

匿名 名 様
下牛隈 畠中 鈴香 様
宮吉 匿名 名 様

セレモニ―ホールおつか様
九州スズキ販売 様

〔リングプル〕

山野第二 粉井 優貴 様
枝坂 友清 啓子 様
漆生南部 佐々木 繁 様
漆生南部 中村 妙子 様
上白井上 匿名 名 様
蛭子 武田 悦子 様

石ヶ崎

國武 美千代 様
山下 宝井 陽菜 様
百々谷 中園 千歳 様
百々谷 西 芳子 様
百々谷 橋本 利根 様
大橋 姉川 亮太 様
木城 上野 更沙 様

熊ヶ畑第二

山本 ヨシ子 様
中益 野見山 佳乃 様
貞月 大屋 由理子 様
市内 匿名 名 様

田中茶舗

鎌田病院 匿名 名 様

〔古切手〕

山野第一 古賀 キヌエ 様
漆生南部 宇野 洋子 様
蛭子 武田 悦子 様
石ヶ崎 渡邊 美千代 様
熊ヶ畑第二 山本 ヨシ子 様
漆生郵便局 匿名 名 様
嘉穂養護学校 匿名 名 様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々にご
加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます)

8月16日～9月15日受付分

〔個人会員〕

〔山野第一〕東富見子
〔稲築才田〕松尾洋子、富崎剛、
柳田シズ、高江進一、原園あや
こ、正池健治郎、小茂田高士、
野見山優、江川ハツミ、茶屋芳
輝、松尾ヤスミ、長嶋フミ、西
野鶴夫、山本公一、森川ふくえ、

井上国光、徳永シゲオ、北口修、富崎静江、浅田スミ子、向井愛子、大木貞男、大木国利、大木徳雄、大山喜秀、野崎静子、大山邦夫、奥迫文男、奥迫フジ子、山本虎彦、木下国光、大山博之(三口)、谷口重次、兵道和世、今宮スエ子、片丘末喜、松尾久士、野見山清隆(二口)、茅野廉平、白石ツタエ、曾我部美枝子、高鍋厚、桑野英俊、大津テル子、長沼ヒナ子、松尾博昭

〈平第一〉鎌田和早

〈平東〉平川勝利、木場和子、岩井秀和、佐伯照雄、梶原恵子、三木泰信、梶原信義、柴田迪一、布施春義、辰崎トミコ、白川禮子、古賀八重子、坂部春美、西田ツナ子、藤沢洋一、矢羽田正人、石川愛子、小坪敏子、入江守岩村のぶ子、花田岩夫、正池治、中嶋シヅ子、内野ヒサヨ、縄田進、梶美鈴、西シズカ(三口)、松尾美代子、水野朝子、大隈繁行、佐藤俱恵、杉原芳子、屏秋善、森本富江、西田鉄也、加藤友二郎、酒井ヒロエ、芳野正則、岩本紀子、雪竹雪江、篠原千登勢、橋本進、松尾正則、金堀俊雄、柳瀬嘉浩、大久保秀喜、岡本佳子、鬼丸砂子、高松徳一、藤田義富、池田素道、梶原清、佐藤正高橋正吉、森明、柴田夏江、柴田ツネミ、柴田日出喜、中野孝一、長岡順子、島田美喜子、梅野春夫、山下サツエ、津田ノブ子、早川ツエ子、梅林道子、長岡美子、國武ミツヨ、佐野君代、

安倍緑、米矢正志、西まゆみ、林田政夫、稲田鉄男、井ノ下ツギ子、古賀千尋、高木チヅ子、藤田義輝、山本重勝、末武勲、野口清司、瀬戸山照香、角谷恵子、飯田和代、宇野泰司、中村カズエ、久保田範子、中野伸子、田中弘光、宮崎啓子、丸山光男、吉見文字

〈緑ヶ丘〉村上義孝、岡村睦子、椎葉富子、真崎一元、石田八重子、藤内淳一、野村久雄、日高龍馬、松本末太郎、金国勝美、富永昭信、篠原弘之、永野シカ、城崎淳代、川上一記、松本政之、野嶋シズヨ、野嶋美登利、津曲義光、田中次男、上木原重子、真子謙治、宮本孝子、滝石ミヨ子、野村カツエ、田原雄二、野上定雄、島田清子、江野島敏行、新原タミ、平野洋子、田原和義、安本彰一、安本博幸、松本正義、黒石峰雄、寄村順子、峰須賀テル子、花田陽子、山本昌弘、堀内信孝、日和佐幸雄、長嶋初代、原田広、千代田伸一、清水ミサヨ、栗林政信、田中和則、山下繁博、入江恵子、坂川隆、熊野忠明、石川由彦、和智ヤヨイ、山際峯子、矢野正則、渡部広志、河野博行、松永ユキヨ、岡田国男、氷室計介、戸田量夫、鳥居孝行、箕田キヨノ、津口ヤエノ、津口重義、佐藤俊子、楠本文子、福田初美、壁矢享代、稲富テイ子、高尾節治、林田常彦、秋丸幸男、鳥居保夫、白川ヨシ子、大辺美喜男、緒方重春、小野國

枝、金川智裕、清嶋巖、浅田一義、滝石哲男、勝本サダメ、西嶋シズ子、大和大三、豊田博美、河野カヨ子、秋丸ヒフミ、松本孝子、篠原文子

〈鴨生北町〉鈴木光代

〈漆生東〉若松福美(三口)、吉永ツタ子(二口)、田籠スミ子、下坂マサ子、小野ノブエ、小川征司、小川美世子、東野正夫、広瀬フミ子、清藤シズ子、日隈恵子、竹内ツタエ、北島ヤス子、上田セツ子、松井督光、藤田照秋、小長保、久家ヒサ子、中村サツキ、金丸智津子、大垣俊子、高橋睦子、原口トシ子、古野健明、山倉勲夫、豊本陽夫、富永俊正、服部哲雄、江田弘、木村昭秀、小林秀三、坂本スミエ、小長コシズ、亀川歌子、小坂田訓亨、諫山義光、坂本光義、田代静香、島津節子、藤原暢夫、片山比呂子、吉野勉、松尾三喜男、石田哲雄、藤井学、今井美代子、毎日新聞販売店

〈漆生老松〉森崎英子

〈樋渡〉藤春喜代士、藤春正記、花岡善則、花岡忠次、花岡安子、花岡友子、萬田紀男、萬田八重子

〈上白井上〉穂本スミエ

〈出川〉和田秀美(二口)

〈熊ヶ畑第一〉広瀬須代子、篠崎悟志、伊藤三郎、大里弘子、大塚由美子、金崎九二光、金崎伍郎、金崎スエ子、平嶋洋和、広瀬澄子、広瀬ヤスエ、荒木美千代

〈百々谷〉稲富静代、尾木八重子、

西野フミ子、阿部久代、石井春美、大田シズ子、川上アイ子、渋谷香、高見敬次、長谷川はるみ、福井政子、吉村英雄

〈本町〉柴田素代、安武幸子、鷲谷嘉一、野中スエ子、中村智美、松岡タカ、宮崎裕、大野多美子、〈西川〉大里幸子、真次悦子、松岡智子、松岡和子、大塚久江、太田聖子、吉永範男、田中秀文、広瀬サツ子、山下俊実、安武睦恵、井上美代子、酒井彦光、梶村アサ子、溝口義智

〈木城〉水之江文子、大倉キミ子

〈大橋〉田中正子

〈石ヶ崎〉仲道輝子、古賀道人、岩田順一、江藤友喜、堂面武士、山田信之、丸山隆利

〈上西郷〉伊藤健一

〈千手〉森美子

お詫びと訂正
第43号(9月1日発行)の社
協会費個人会員の記事で、
〈山野第一〉楠田元憲様、片岡
吾様となっていました、
〈山野第一〉楠田元徳様、片岡
晋様の誤りでした。
お詫びして訂正いたします。

11月の総合相談

法律相談

と き 11月5日(木) 13:00~16:00
と ころ 山田ふれあいハウス

と き 11月19日(木) 13:00~16:00
と ころ 稲築住民センター

心配ごと相談

と き 11月11日(水) 13:00~15:00
と ころ 稲築住民センター

と き 11月25日(水) 13:00~15:00
と ころ 稲築住民センター

法律相談は予約が必要ですので、お早めにお申込みください。

嘉麻市社会福祉協議会 ☎42-0751

心のふるさと

私は、益富城址の山ふとこ
ろに抱かれ、近くには、滝の観
音様が祭られている大隈町中
益で産声をあげました。

小さい頃、何度も母に連れ
られて、観音様にお参りしま
した。参道の両側に咲いているしやがの花が、大好きでし
た。私の家の庭にもしやがの花を植えています。しやが
の花が咲くと、懐かしく想い出します。長く続く階段に登
り切ると、滝の甘い水が、疲れた身体を癒してくれました。
今、こうして元気で過ごせるのも、故郷の大自然が見守つ
てくれているからだと思っています。

忘れられないのは、百段以上ある階段を大勢の人達が、
一段一段大きな吊り鐘を引つ張りあげ、鐘付堂まで、運び
あげられたことです。子供心に、多くの人の力で、成し遂げ
られたことをすごいなあーと鮮明に覚えています。その鐘
付堂で一人ずつ鐘をつかせてもらった時の感動は、今も忘
れられずに、私の心の宝物となっています。

高校を卒業すると、故郷を後にし、保母養成所で資格を
いただき、神奈川県知事官舎施設で働き、結婚と同時に
に宮崎へ来ました。早いもので、41年になります。

実家では、105歳になる父が、兄夫婦に見守られ元気でい
ます。自分の父が、今なお元気でいるなんて、信じられない
位ですが、これも故郷の皆さんのお陰だと、心から感謝し
ています。

現在、嘉麻市として、大きく成長した故郷が、いつまでも
自然を大切に、活気あふれる処であってほしいと、心か
ら願っています。

今回、ふるさとについて、改めて考える機会を与えて下
さった社協の方々に、心から感謝いたします。ありがとうございました。



宮崎県宮崎市在住
益田 聖子さん(67歳)
中益出身

いつまでも安心して喜らせる地域づくりのために

～平成21年度の「社協会員」を募集しています～

「住み慣れた嘉麻市で、いつまでも暮らし続けたい」という願いは、市民共通の思いではないでしょうか。今日、介護保険をはじめとする、様々な公的な福祉サービスは充実してきていますが、制度だけでは対応することができない福祉課題も多数存在しているのが実態です。本会は、市民の方々の参加と協力に基づいて、そのような福祉課題を解決する事業や活動を実施していくため、年間を通して「社協会員」の募集を行っています。

平成21年度にみなさんからお寄せいただいた会費は、地域支えあい事業や子育てリユースセンター事業、地域福祉部の設置・支援事業などの活動財源として、有効に活用させていただきますので、趣旨をご理解いただきまして、多くの方々のご加入をお願いいたします。



■会費の種別と金額

一般会員 1口 1,000円/年額 法人・団体会員 1口 3,000円/年額

お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751

シリーズ 炭マの記憶 No.31



吉田 礼子さん
田中 秀代さん
山邊富美子さん
(山下在住)

昭和45年の閉山まで、現在の山下団地付近には、古河下山田炭鉱がありました。この炭鉱は、上山田線の下山田駅と隣接していたため、その周辺は、映画館やビリヤード場などの娯楽施設、商店などが立ち並び、活気に満ち溢れていました。

今回、その当時から現在まで山下地区に住んでいる山邊富美子さん、田中秀代さん、吉田礼子さんに、華やか成りし時代の記憶を辿ってもらいました。

今では想像できませんが、当時の商店街(現在の市営住宅山田山下団地周辺)には、呉服屋や雑貨屋をはじめ、薬局、床屋、肉屋などがところ狭しと軒を連ねていました。特に給料日は、買い物客でこった返していたので、「人におつからないよう、かごを前にさげて、買い物しよつたし、お店に入つても、お客さんが何人も並んでいたものね。」と、三人で懐かしそうに振り返ります。

また、山邊さんが嫁いだ山邊呉服店は、昭和63年までその商店街で営業していたそうで、当時は既製品の洋服などがほとんどなく、反物を買って着物や洋服に仕立てるのが一般的であったため、人々で賑わう給料日には、家族総出でお店に出るなど、本当に忙しかったそうです。山下地区には、呉服屋だけでなく5軒近くあり、他の地区の人達からは、「古河炭鉱の人は、食べ物より身なりに気を遣いようね。」と冷やかされた思い出を語ります。

さらにこの炭鉱の中には、食品や衣類、雑貨、お酒、宝石類などを購入できる「購買会」という所もあって、安く買い物ができるので、「今では考えられないけど、地元で何でも買うことができると便利だったし、購買会に行くのがワクワクして、楽しかったね。」と語るその言葉からは、一瞬若かりし頃に戻ったような感覚がありました。

時代も流れ、現在の山下地区は閑静な住宅街となり、当時の面影はすっかりなくなってしまうかもしれませんが、炭鉱と共に生きてこられた方々にとっては、あの時代の賑わい、また人とのつながりは、忘れることのできない一生の宝物として、心の中でいつまでも生き続けることでしょう。